

理科「新科学と人間生活」	単位数	2単位
	学科・学年	キロテコカケト科・第3学年

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	・自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解し、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。
使用教科書・副教材等	新科学と人間生活ーくらしの中のサイエンスー(数研出版) 新科学と人間生活ーくらしの中のサイエンスー 準拠ノート(数研出版)

2 学習計画及び評価方法等

(1) 学習計画等

学期	学 習 内 容	月	学 習 の ね ら い	考 査 範 囲
1 学 期	序編 科学技術の発展 「見る」技術の広がり	4	・科学技術の発展が今日の人間生活に対してどのように貢献してきたかについて、「視覚」を通して理解する。	中 間 期 末
	第1編 物質の科学 ①金属 ②プラスチック ③資源の再利用	5	・金属の種類、性質及び用途について理解する。 ・プラスチックの種類、性質及び用途について理解する。 ・資源の再利用について理解する。	
	第2編 生命の科学 ①植物と光 ②ヒトの視覚と光 ③動物の行動と光 ④ヒトの健康と光	6	・植物の生育と光とのかかわりについて理解する。 ・ヒトの視覚と光とのかかわりについて理解する。 ・動物の行動と光とのかかわりについて理解する。	
		7	・ヒトの健康と光とのかかわりについて理解する。	
2 学 期	第3編 熱や光の科学 ①波の性質 ②光の種類と性質 ③光の進み方 ④光の回折と干渉 ⑤電磁波の性質と利用	8	・波の基本的な性質について理解する。	中 間 期 末
		9	・光の種類や性質について理解する。 ・光の反射・屈折・分散・散乱の現象について理解する。 ・光の回折・干渉の現象について理解する。	
	第4編 地球や宇宙の科学 ①地球の概観 ②地形の成りたち ③変動する大地 ④自然災害とその防災	10	・地球の形状や内部の構成について理解する。	
		11	・地形の成り立ちを、水の作用と関連させて理解する。	
3 学 期	終編 これからの科学と人間生活 ①科学が人間生活に与える影響 ②課題研究の進め方	12	・自然災害の種類や原因、防災について理解する。	学 年 末
		1	・これからの科学と人間生活のかかわり方について課題を設定し、考察する。	

(2) 評価の観点及び内容

関心・意欲・態度	・自然の事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究しようとするとともに、科学的態度を身に付けている。
思考・判断・表現	・自然の事物・現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。
観察・実験の技能	・観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。
知 識 ・ 理 解	・自然の事物・現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。
・定期考査や課題テストにおいて、随時復習事項を出題し、基礎知識の定着を図ります。 ・自然科学が日常生活や現代産業の基礎であることを意識しましょう。	

3 確かな学力を身につけるためのアドバイス

・なぜだろうと考える習慣を身に付けよう。 ・予習復習を必ずしよう。さらに、習った範囲の問題を解く練習をしよう。 ・ノートは、黒板を写すだけでなく、自分で気のついたことをメモするなど、工夫してまとめよう。
